



《将来に向けた取組方針》

日本精工 (NSK) は、事業活動が生物多様性に与える影響を洗い出し、ポジティブな影響の促進、ネガティブな影響の抑制に努めます。

軸受などの NSK 製品に多く使用している特殊鋼は、鉄スクラップを再生利用しているため、天然資源の消費は少なく、事業活動が生物多様性に与える影響は比較的少ないものと考えています。しかし、地球規模での生物多様性の喪失は深刻であることから、その喪失を少しでも減らし回復に貢献するため、生物多様性リスクの評価、工場敷地内の重要な種の保護、省エネ・省資源活動や環境貢献型製品の創出などの取組みとともに、社会貢献活動を促進しています。

〈具体的取組み事例〉

各事業所において、近隣の自治体や地域住民、NPOなどと連携しながら、従業員やその家族が参加する社会貢献活動を通して、国が指定する天然記念物や海岸、河川、里山などの保全に取組んでいます。

〈学んだこと・成果〉

日本では、2019年度までに生物多様性保全に関する社会貢献活動を7か所で実施し、2019年度の活動には、延べ360人が参加しました。海外では、アメリカ、イギリス、中国、韓国、タイ、インドネシア、インド等で取組みを行っています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、日本の3か所で活動を実施しました。海外においては、アメリカ、インド、イギリス、韓国、中国、タイで活動を行いました。

NSK 富山(株)の活動が評価され、富山一級水系水質汚濁対策連絡協議会から優良団体として表彰されました。

〈今後の課題〉

国内・海外での活動を促進し、参加者の生物多様性への認識を高めます。
あわせてeラーニングなどを通じて、全ての従業員の意識醸成を図っていきます。



「NSKぐんま 未来の森」
における里山保全活動 (2015年より継続)



イギリスにおける河川清掃活動 (2021年)